

# スマートシティ／先行モデルプロジェクト

先端的技術や官民データの活用により都市が抱える諸課題の解決や新たな価値の創出を図ることで都市生活の質や都市活動の利便性向上を目指す「スマートシティ」の社会実装の加速に向けて、モデルプロジェクトを支援しています。

<スマートシティのイメージ>

## 都市生活の質や都市活動の利便性向上

リアルタイムデータによる  
防災情報の発信

ビッグデータを活用した  
エリアマネジメント・スマートプランニング

エリアコンテンツと連動した  
ヘルスケアアプリによる健康増進

自動運転・MaaSによる  
快適な移動・物流

センシング技術による  
インフラ管理

## 都市におけるサービスの展開

カメラによる人流分析・  
見守り

### 都市空間

### サイバー空間

センサー

カメラ

ビーコン

センサー、IoTを通じてあらゆる  
データを継続的に取得

人流  
データ

施設  
データ

環境  
データ

膨大なデータをAI等で解析し、  
最適解を予測

◆先行モデルプロジェクト（27事業）  
全国の牽引役となる先駆的なプロジェクト  
として、実証実験支援等を実施。



| No. | プロジェクト実施地区      |
|-----|-----------------|
| 1   | 北海道 札幌市         |
| 2   | 秋田県 仙北市         |
| 3   | 福島県 会津若松市       |
| 4   | 茨城県 つば市         |
| 5   | 栃木県 宇都宮市        |
| 6   | 埼玉県 さいたま市       |
| 7   | 埼玉県 熊谷市         |
| 8   | 埼玉県 毛呂山町        |
| 9   | 千葉県 柏市          |
| 10  | 東京都 千代田区        |
| 11  | 東京都 港区          |
| 12  | 東京都 江東区         |
| 13  | 東京都 大田区         |
| 14  | 新潟県 新潟市         |
| 15  | 石川県 加賀市         |
| 16  | 静岡県 熱海市・下田市     |
| 17  | 静岡県 藤枝市         |
| 18  | 愛知県 岡崎市         |
| 19  | 愛知県 春日井市        |
| 20  | 京都府 精華町<br>木津川市 |
| 21  | 大阪府 大阪市         |
| 22  | 兵庫県 加古川市        |
| 23  | 和歌山県 すさみ町       |
| 24  | 島根県 益田市         |
| 25  | 広島県 三次市         |
| 26  | 愛媛県 松山市         |
| 27  | 熊本県 荒尾市         |

※赤着色は2021年度に追加選定された地区

## スマートシティとは

⇒ 都市・地域の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区

**Mobility 交通**

・公共交通を中心に、あらゆる市民が快適に移動可能な街

**Nature 自然との共生**

・水や緑と調和した都市空間

**Energy 省エネルギー**

・パッシブ・アクティブ両面から建物・街区レベルにおける省エネを実現  
・太陽光、風力など再生可能エネルギーの活用

**Safety & Security 安全安心**

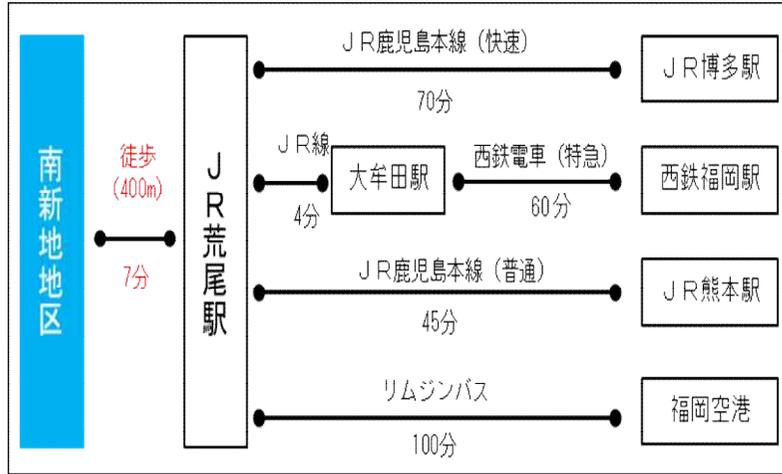
・災害に強い街づくり・地域コミュニティの育成  
・都市開発において、非常用発電機、備蓄倉庫、避難場所等を確保

**Recycle 資源循環**

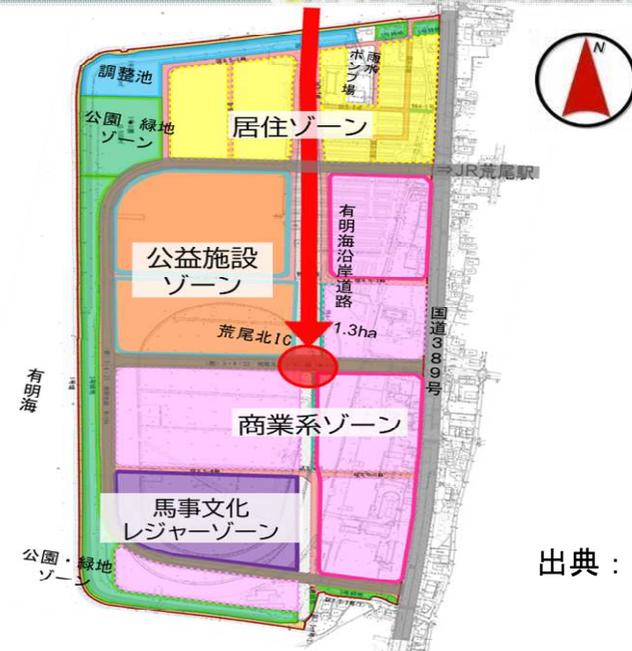
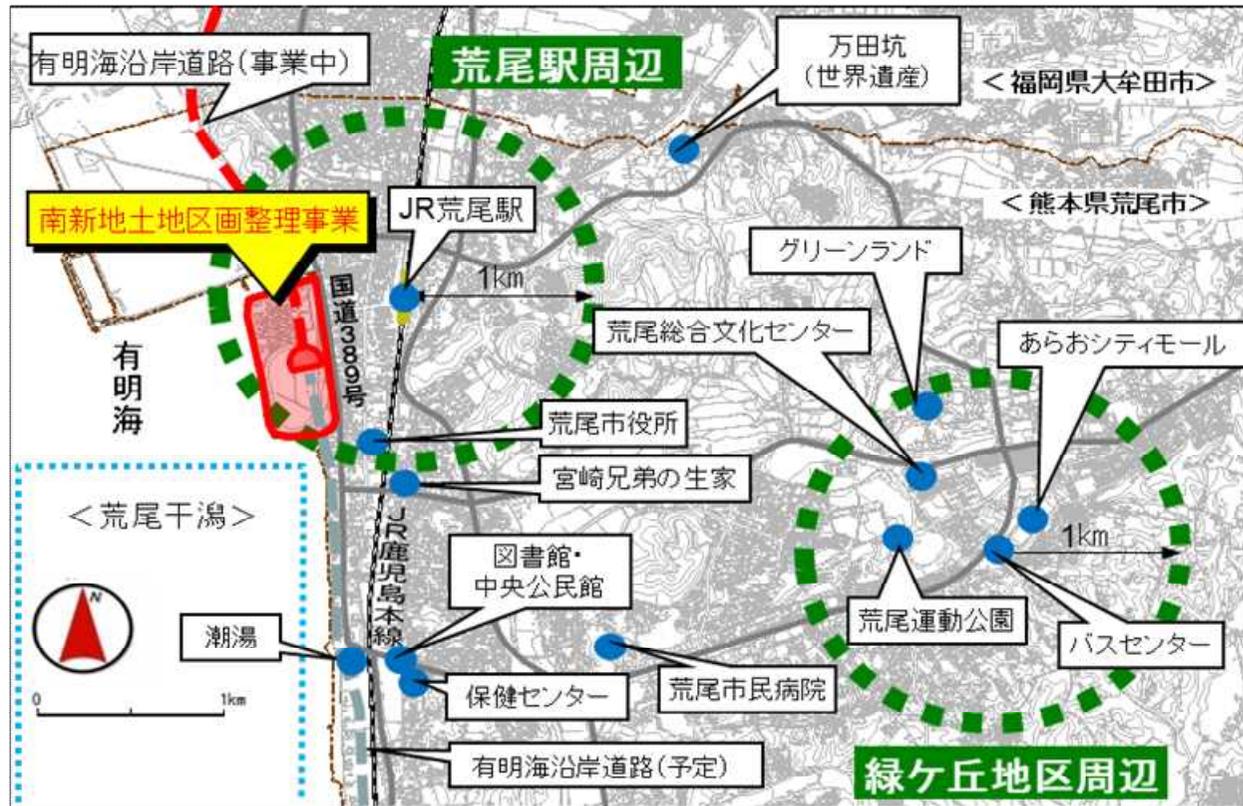
・雨水等の貯留・活用  
・排水処理による中水を種載散水等に利用

# 荒尾市 南新地地区（荒尾競馬場跡地）の概要

## ◆荒尾市域の中心拠点



## ＜南新地土地区画整理事業 区域図＞



出典：UR都市機構

# スマートシティモデルプロジェクト

## 荒尾ウェルビーイングスマートシティ（あらおスマートシティ推進協議会）

さりげないセンシングと日常人間ドック、再生可能エネルギーの活用と蓄電池・EVの連携制御によるエネルギーの地産地消、オンデマンド相乗りタクシーなどの自治体MaaS、及びパーソナルデータを集中管理ではなく個人管理で安心安全に利活用できるパーソナルデータエコシステムによる横串連携など、多様な先進技術の連携により、住民が最先端のウェルビーイング（心身ともに健康で幸せな状態）を享受できる快適未来都市にする。また南新地地区をリビングラボと位置付け、ニューノーマル時代の新サービス創出拠点を目指す。



### ■対象区域の概要

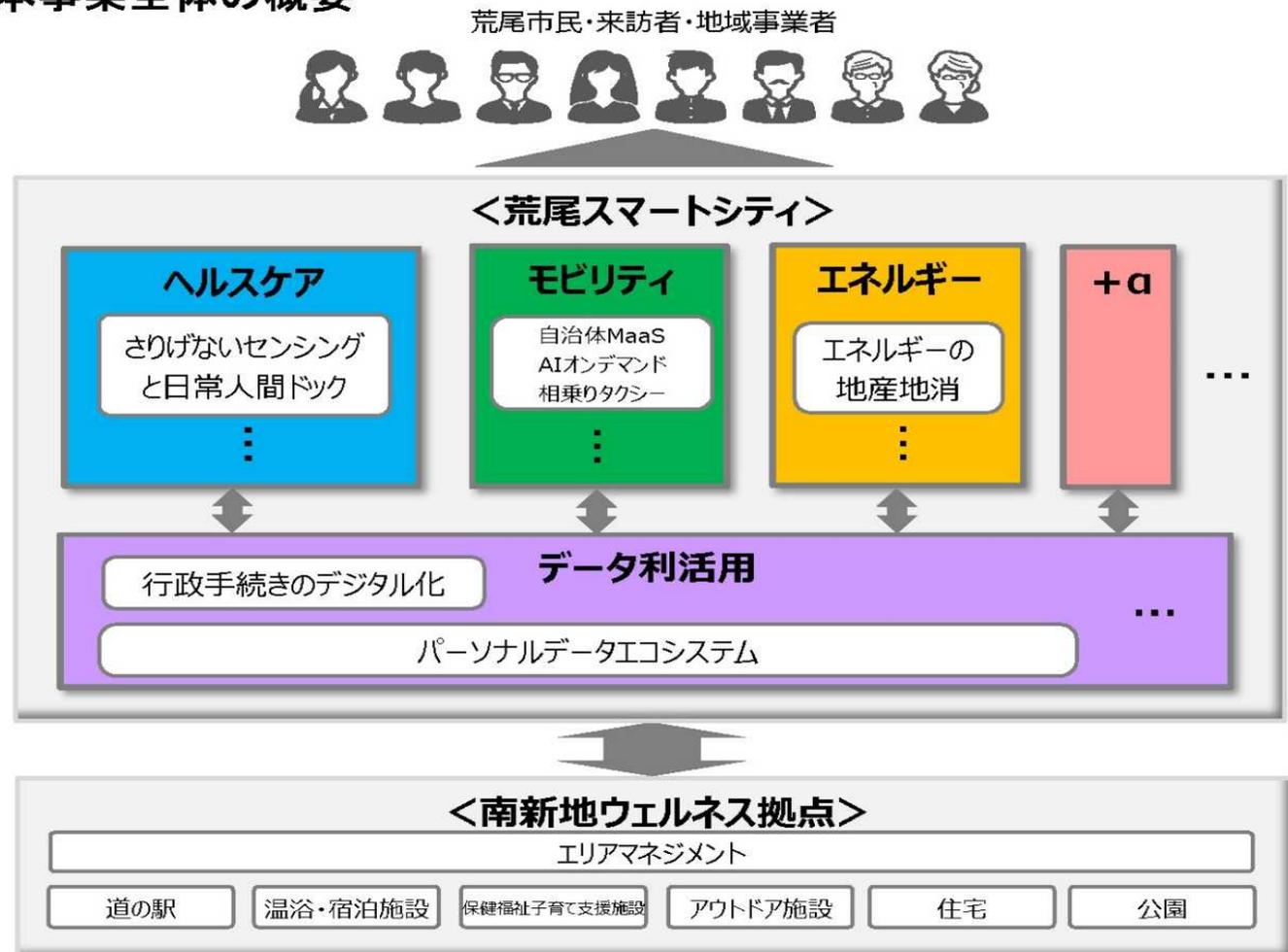
- ・対象：熊本県荒尾市（南新地地区）
- ・人口：約5万人 ・面積：57.37km<sup>2</sup>

※南新地地区にて土地区画整理事業（南新地ウェルネス拠点開発）が進行中  
 ※有明沿岸道路の延伸及び荒尾北IC（仮称）が新設予定

### ■対象区域のビジョン



### ■本事業全体の概要



# エネルギー×モビリティ分野

再生可能エネルギーの域内活用と蓄電池・EV等との連携、群制御による地域エネルギーマネジメントシステムの構築による自立的なエネルギーの地産地消・災害に強い電力インフラシステムへ。公共交通に加えてオンデマンド相乗りタクシーやシェアリング型電気キックボード、自動運転循環バス等、あらゆる人が快適に移動できる最適交通モードの構築を目指す。



出典：あらおスマートシティ推進協議会

## 2020年10月運行開始

### おもやい (OMOYAI) タクシー利用ガイド

おもやいタクシーってどんな乗り物？

「相乗り」する

AI (人工知能) が経路を判断し、利用者同士が相乗りすることで、比較的低料金で効率的な運行を行います。



車体は黄色



市内全域を運行

特定の停留所を設けず、市内全域どこでも運行。希望の場所までお迎え、お送りします。

「おもやい」とは、「共有する、一緒に使う」

という意味の九州地方の方言

さらに、AI を活用したタクシーから、ローマ字の「AI」を強調

#### 運行概要

##### 料金

- ・2km 未満 300円 / 人
- ・2km 以上 3km 未満 400円 / 人
- ・3km 以上 4km 未満 500円 / 人
- ・4km 以上 5km 未満 600円 / 人
- ・5km 以上 700円 / 人

※小学生半額・未就学児無料 (乗車時に運転手に伝えてください)

※距離はシステムが算出する最短経路です。相乗りで走行距離が伸びても料金は加算されません。

～50円の割引サービス～

- ・スマートフォンからのネット予約
- ・産交バス乗車証明書の提示



##### 運行時間

全日午前8時～午後5時

##### 予約時間

当日午前7時30分～午後4時30分  
※当日分以外の予約、往復分の予約はできません。片道ずつの予約をお願いします。

##### 運行範囲

荒尾市全域 (どこでも乗り降り可能)

##### 対象者

どなたでも (市外の人でも利用可能)

運行台数 2台 (電気自動車)

運行事業者 荒尾市タクシー協会

協力 三井物産(株)、(株)未来シェア

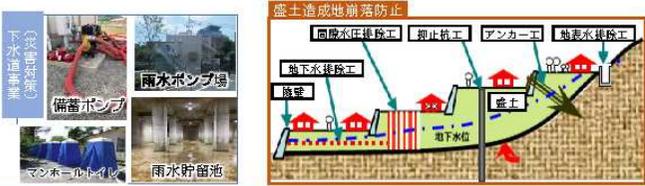
電話でも予約可能 (オペレーターが対応)

出典：荒尾市 (広報あらお2021年1月号)

○多様な地域の方針・ニーズを踏まえ、事業立ち上げから、事業実施・ソフト対策まで、きめ細やかに市町村の取組を支援

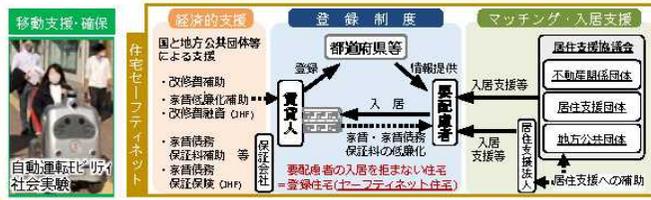
命と暮らしを守る安全・安心な社会の構築

- 防災・減災 国土強靱化
  - > 下水道(雨水施設)、災害拠点、避難施設等の整備
  - > 施設の耐震化・耐水化、盛土造成地耐震化・宅地嵩上げ
- 流域治水と一環した防災を主流化したまちづくり
  - > 危険度判定、防災活動、安全な土地利用(立地適正化)



誰もが暮らしやすい健康で快適な環境の充実

- ポストコロナに対応したゆとりある空間づくり
  - > ウォークアブルシティ、公園・緑化、スマートシティ・オフィス
- 高齢者・子育て世帯などの居住・利便の確保
  - > 高齢者等の住まい・移動確保、子育て施設・環境整備



地域資源を活かした持続可能な賑わいづくり

- 都市の持続性の確保、市街地の空洞化対策
  - > グリーン化(脱炭素)、ストックマネジメント(老朽化対策、公的資産活用)
  - > コンパクトシティ、空き地・空き家の有効活用、官民連携
- 自然・文化等の地元の財産を軸としたまちづくり
  - > 地域資源活用、歴史まちづくり、景観・まちなみの魅力向上



調査・計画策定

まちづくり・すまいづくり事業

住民活動・官民連携・DX

コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ

拠点間を結ぶ交通サービスの充実、居住誘導区域から原則除外、拠点エリアへの医療、福祉等の都市機能の誘導、歩行空間の整備、災害ハザードエリアからの移転の促進、公共交通沿線への居住の誘導、居住エリアの安全性強化

市街化区域、市街化調整区域、居住誘導区域、都市機能誘導区域、災害レッドゾーン、災害イエローゾーン

立地適正化計画

景観計画

実態調査

住民ワークショップ

ニーズを活かした計画策定

バイオガスを活用した発電設備、水辺に近づく憩い空間の整備、公営住宅に福祉施設を併設、引堤事業と併せた土地区画整理事業、宅地嵩上げ、ビロテ化、止水板の設置、医療・福祉施設等の防災機能強化、安全で快適なサイクリングロード

駅前には賑わいを創出する交流広場

快速な歩行区間

歴史資料館を併設した子育て世帯に優しい図書館

オープンスペースによる賑わいづくり

空き店舗を子育て施設・図書館に改修

物資の集配拠点となる運動施設

津波避難施設

官民連携した地域の憩いの場

防災まちづくり活動

まちづくりDX 情報・先進技術活用 スマートシティ

シェアモビリティ

混雑状況の見える化

町並みにあわせたレトロバスの運行

Park-PFI

公園内への民間投資誘導+自治体の管理費負担軽減

都市公園

施設: 広場・園路等の公共部分、カフェ等の収益施設

資金: 公的資金、取替を充当、民間資金

民間が収益施設と公共部分を一体的に整備(収益を活用)